

令和3年5月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 中村 顕介

書記 蜂谷 愛

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 令和3年5月26日(水) 午後2時30分～午後3時15分

◆場 所 市民交流センター 第2・3会議室

◆出席委員

教 育 長	吉 木 修	教育長職務代理者	佐 浦 弘一
委 員	松 田 攝子	委 員	高 橋 輝兆
委 員	佐 藤 香		

◆事務局

教 育 部 長	阿 部 徳和	教育部理事兼 市民交流センター館長	佐 藤 達也
教育総務課長	佐 藤 聡志	学校教育課長	白 鳥 武
生涯学習課長	鈴木 和賀子	教育総務課総務係長	中 村 顕介
教育総務課主査	蜂 谷 愛		

◆定例会次第

- 1 開会
- 2 前回会議録の承認
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 教育長報告
 - ① 本市の教育活動の状況について
- 5 教育部長報告
 - ① 市議会定例会等について
- 6 議案
 - ① 議案第11号 塩竈市社会教育委員の委嘱について
 - ② 議案第12号 塩竈市文化財保護審議会の委員の委嘱について
 - ③ 議案第13号 塩竈市スポーツ推進委員の委嘱について
- 7 その他報告
 - ① 小中学校の新型コロナウイルス感染症対策について
 - ② 塩竈市学校施設長寿命化計画について
 - ③ 防球ネット等の学校施設緊急点検の実施結果について
 - ④ 東京2020オリンピック聖火リレーについて
- 8 閉会

1 開会 午後2時30分

2 前回会議録の承認

高橋委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名

佐浦委員と佐藤委員を指名

4 教育長報告

吉木教育長から、以下のことについて報告

① 本市の教育活動の状況について

[主な質疑]

松田委員 6月13日に行われる市総合防災訓練について、昨年度も今年も、登校日ではなく、地域住民が参加する防災訓練として行うのか。また、新型コロナウイルス感染症が終息した際、今後はどうのように防災訓練を行うのか方向性をお聞きしたい。

教育長 昨年度も、今年も児童生徒は登校日とせず、関係する職員のみ訓練に参加した。ただし、今後新型コロナウイルス感染症が終息すれば、以前と同じように、塩竈市としては子どもや地域住民の方が参加する防災訓練を行っていく。

佐浦委員 部活動外部指導者について、講習会を行っていたと思うが、これは毎年行っているのか。

生涯学習課長 生涯学習課で毎年講習会を企画していたが、昨年は新型コロナウイルス感染症により開催せず、また、3月に研修会を予定していたがそれも直前で中止となった。今年度は新型コロナウイルス感染症が終息してからということで、秋以降に予定している。外部指導者にはギフトというマニュアルを使用して研修を進めていく。

佐浦委員 毎年研修を受講した方には、受講証みたいなものを渡すのか。

生涯学習課長 受講証は用意していないが、外部指導者に案内を出し、できるだけ多くの方に受講してもらえよう推奨している。

佐浦委員 部活によっては、倫理的な部分のほかにも様々な心得があると思うので、しっかりと研修を行ってほしい。

5 教育部長報告

阿部教育部長から、以下のことについて報告

① 市議会定例会等について

〔主な質疑〕

高橋委員 iPad を使って今後授業が行われるが、長期的には児童生徒の視力の低下が問題になってきている。教育委員会も含め、教職員や養護の先生を対象に眼科医から講演をしてもらった方がいいのではないか。

教育総務課長 講演も含め、検討していく。現在は、文科省から iPad の活用にあたっての健康の留意事項、特に目の健康の留意事項について、30分に一度は20秒画面から目を離す等のいくつかの注意点があったので、その通知を各学校に通知して周知を図っている。

6 議案

鈴木生涯学習課長から、議案を説明した。

議案第11号 塩竈市社会教育委員の委嘱について

議案第12号 塩竈市文化財保護審議会の委員の委嘱について

議案第13号 塩竈市スポーツ推進委員の委嘱について

〔主な質疑〕

特になし

採決：全会一致で承認

7 その他報告

佐藤教育総務課長から、以下のことについて報告

① 小中学校の新型コロナウイルス感染症対策について

② 塩竈市学校施設長寿命化計画について

③ 防球ネット等の学校施設緊急点検の実施結果について

鈴木生涯学習課長から、以下のことについて報告

④ 東京2020オリンピック聖火リレーについて

〔主な質疑〕

松田委員 机上飛沫防止ガードについて、危惧されるのは安全面と衛生面である。出し入れする際の注意事項や保管場所等、マニュアルを作成し、子どもたちと先生方で共通理解を図ってほしい。また衛生面で、飛沫が飛んで清掃をしなければいけないと思うので、その際も注意してほしい。

教育総務課長 安全面、衛生面について注意して使用していく。今回設置する飛沫防止ガードはPET製の軽いもので、また、脇に穴が開いていて簡単に出し入れできるようなものを選んでいく。

高橋委員 長寿命化計画について、児童生徒数の推移をみると令和27年にはかなり人口が減っていて、その15年後の令和42年にはさらに減っていくと、統廃合について議論していかなければいけない。これから10年はいいが、今後統廃合を含めた長寿命化計画、また、本当の意味での小中一貫教育を見据えていかなければいけないと思うが、どのように考えているか。

教育部長 長期的な見通しを地域の方々に持っていただかないといけない。この学校が何年後にどこの学校とどうなって、適正な配置になっていくのかという見通しを、早めに知っていただくのが肝心だと考えている。現在、学区ごとの子どもの数の将来見通しを立てようとしていて、それをベースに、学区とういうものがどのように再編するのが適正なのか、また、これまで県内で学校が統廃合されるタイミングとしては、複式学級であるとか、一学年が10人を切るとか、そうしたタイミングで再編されていく傾向にあるので、そのタイミングがいつになるのか、詳細なシミュレーションを立てている。その結果を地域住民に話をしながら一緒に考えていく作業の準備を進めている。

8 閉会 午後3時15分

〈会議録署名委員〉

1 番委員
(佐浦委員)

4 番委員
(佐藤委員)